

平成 30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52203	幼児理解 Infant Understanding	高沢 佳司	専門	1	選択	1 年後期

科目の概要

幼児理解の全体目標は、科目学習を通して幼稚園教育や保育園での養護のあらゆる基本となる対象の理解を得、幼稚園・保育園における幼児の生活や阿蘇の実態に即して、幼児の発達や学び及びその過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応の方法を考えることができるようになることである。

この目標を達成するため、保育の心理学の立場から幼児を理解する。内容として基礎的な理論や歴史から、子ども・保護者の心の問題や行動についての理論的理解や事例を通して具体的に理解し、その対応や援助方法などについて学ぶ。また、幼稚園・保育園における気付きな園児や保護者の対応方法などの「見立て」「援助」なども具体的に学生が自ら考え、援助方法を学ぶように授業を工夫して行う。また、心理検査や発達検査などの演習も行う。これらの取り組みを通して、幼児教育および保育の現場で活躍できるための専門的知識・技能を修得し、それぞれの現場で協調性を持って柔軟に活用する能力を身につける。

学修内容	到達目標
①子どもの発達と保育実践(発達把握、個人差や発達過程、身体感覚、環境、関係作り、自己主張、自己統制、集団) ②生活や遊びを通じた学びの過程(生活・遊びと学び、生きる力) ③保育における発達援助(基本的な生活習慣、主体性、発達の課題、連続性と就学への支援、協働、現代社会における課題)	①幼児理解の意義と原理 一般目標:幼児理解についての知識を身に付け、考え方や基礎的態度を理解する。 到達目標・・・1)幼児理解の意義を理解している。2)幼児理解から発達や学びを捉える原理を理解している。3)幼児理解を深めるための教師の基礎的な態度を理解している。 ②幼児理解の方法 一般目標:幼児理解の方法を具体的に理解する。 到達目標・・・1)観察と記録の意義や目的・目的に応じた観察法等の基礎的な事柄を例示することができる。2)個と集団の関係を捉える意義や方法を理解している。3)幼児のつまずきを周りの幼児との関係やその他の背景から理解している。4)保護者の心情と基礎的な対応の方法を理解している。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	調べ学習等の自発的な学習を行うことができる
	働きかけ力	
	実行力	事例検討、グループ討議等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる
考え抜く力	課題発見力	事例検討等で、事例を読み取り登場人物のニーズを把握したり、解決の手だてを把握したりすることができる
	計画力	
	創造力	事例の解説通りではなく、それを土台とした自らの新しい発想を通して事例を解釈し支援計画を考えることができる
チームで働く力	発信力	グループ討議の結果をクラス全体に分かりやすく発表することができる。また、相互に教え合うアクティブラーニング形式の学習方法を実行することができる
	傾聴力	発表者の意見を自分の立場に置き換えて、発表者の意図を汲み取りながら聴くことができる
	柔軟性	グループ討議の際、相手の意見も取り入れながら多角的に物事を見ることができる
	状況把握力	
	規律性	他の受講者に迷惑がかからないよう私語はしない。授業中に携帯電話を不必要に操作しない。居眠りをしない
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト:沼山博・三浦主博 編「新訂 子どもとかかわる人のための心理学 発達心理学、保育の心理学への扉」萌文書林 ※その他、プリントは適宜配布する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:発達心理学、教育心理学
資格との関連:幼稚園教諭二種免許、保育士

学修上の助言	受講生とのルール
事例検討やシミュレーションを重ねることで、汎用的思考力である高次解釈(なぜ)と低次解釈(どのように)を自在に使えるようにすること。この別々の解釈水準の思考力を持つことで専門的科目の習得が容易になる。注:高次解釈、低次解釈という用語の意味は、難易度や優先順位とは無関係である。前者は物事の中心的意味(理由、目標)に関する思考であり、後者は副次的意味(手段、二次的目標)に関する思考である。	調べ学習、発表、グループワーク、相互に教え合う等の活動に代表される、アクティブラーニング形式での授業に意欲を持って参加すること。ほぼ毎回、課題プリントが課されるため、必ず提出すること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・調べ学習等の自発的な学習を行うことができる (実行力) ・事例検討、グループ討議等の困難な課題にも粘り強く取り組むことができる (課題発見力) ・事例検討等で、事例を読み取り登場人物のニーズを把握したり、解決の手だてを把握したりすることができる (創造力) ・事例の解説通りではなく、それを土台とした自らの新しい発想を通して事例を解釈し支援計画を考えることができる (発信力) ・グループ討議の結果をクラス全体に分かりやすく発表することができる。また、相互に教え合うアクティブラーニング形式の学習方法を実行することができる (傾聴力) ・発言者の意見を自分の立場に置き換えて、意図を汲み取りながら聴くことができる (柔軟性) ・グループ討議の際、相手の意見も取り入れながら多角的に物事を見ることができる (規律性) ・他の受講者に迷惑がかからないよう私語はしない。また、授業中に携帯電話を不必要に操作しない ※10点満点の素点を評価点とする。
		②	✓	
		③	✓	
その他	90	①	✓	・調べ学習をプリントで行い、提出することが求められるが、提出の割合で評価する。一の位は四捨五入する。 例)15回のプリント配布のうち、10回提出・・・67%のため、60点。
		②	✓	
		③	✓	
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
筆記試験・社会人基礎力(学修態度)・その他(課題)の3つの評価方法において満遍なく十分な力を発揮できればA。3つの評価方法においてほぼ、あるいは完璧に力を発揮できればS。	筆記試験・社会人基礎力(学修態度)・その他(課題)の3つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは2つの評価方法において十分な力を発揮できればB。2つの評価方法において十分ではないが力を発揮、もしくは1つの評価方法において十分な力を発揮できればC。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション(幼児理解とは何か)、子ども理解における発達 の把握を行う(発達検査)	講義 調べ学習 心理診断法の体験 グループ討議	幼児理解で何を学ぶことができる のかを理解する。アセスメントの 方法や結果の解釈を通して、幼児 の定型発達等を理解できる。	復習:配布プリントを 見直す。	180	主体性 実行力 規律性
2週 /	個人差や発達過程に応じた保 育、各年齢帯での支援の留意事 項を学ぶ	講義 調べ学習 グループ討議	各発達段階、子どもの状態を把握し、支援計画のイメージが理解 できる。	予習:テキスト第3章 3を読む。 復習:配布プリントを 見直す。	90 90	課題発 見力 発信力 傾聴力 柔軟性
3週 /	身体感覚を伴う多様な経験と環境 との相互作用を学ぶ (平行遊び、連合遊び、協同遊 び、アフォーダンス)	講義 調べ学習 グループ討議	保育の物的環境や、人的環境と しての保育者の役割が理解でき る。同時に、遊びの段階の違いを 理解できる。また、環境と主体との 相互作用に関する、アフォーダン ス理論について説明ができる。	予習:テキスト第3章 5を読む。 復習:配布プリントを 見直す。	90 90	課題発 見力 発信力 傾聴力 柔軟性
4週 /	環境としての保育者と子どもの発 達を学ぶ (表象、ごっこ遊び、原因帰属、自 己効力感)	講義 調べ学習 グループ討議	遊びの変化、やる気を育てる支援 等について理解できる。また、表 象、ごっこ遊び、原因帰属、自己 効力感について保育に生かすシ ミュレーションができる。	予習:テキスト第2章 5、8を読む。 復習:配布プリントを 見直す。	90 90	課題発 見力 発信力 傾聴力 柔軟性
5週 /	子ども相互のかかわりと関係作り、 子ども集団の保育の環境を学ぶ (いざこざの原因、アタッチメント、 自己主張と自己統制、道徳性、向 社会行動、過剰指導 対 放任主 義、自主性と自律性) ①ポスター制作	講義 調べ学習 ポスターセッション	仲間関係の発達を通して、子ども 同士のトラブルへの対応方法をシ ミュレーションできる。またアタッ チメント、自己主張、自己抑制、道 徳性、向社会行動の発達につい て理解できる。遊びの変化、表 象、三項関係等から保育の実際 について理解できる。また過剰指 導と放任主義との対比から、自主 性や自律性を育てる方法をシミュ レーションできる。	予習:テキスト第2章 2~4を読む。 復習:配布プリントを 見直す。	90 90	課題発 見力 発信力 傾聴力 柔軟性
6週 /	子ども相互のかかわりと関係作り、 子ども集団の保育の環境を学ぶ (いざこざの原因、アタッチメント、 自己主張と自己統制、道徳性、向 社会行動、過剰指導 対 放任主 義、自主性と自律性) ②ポスター貼り出し、調べ学習	講義 調べ学習 ポスターセッション	仲間関係の発達を通して、子ども 同士のトラブルへの対応方法をシ ミュレーションできる。またアタッ チメント、自己主張、自己抑制、道 徳性、向社会行動の発達につい て理解できる。遊びの変化、表 象、三項関係等から保育の実際 について理解できる。また過剰指 導と放任主義との対比から、自主 性や自律性を育てる方法をシミュ レーションできる。	予習:テキスト第2章 2~4を読む。 復習:配布プリントを 見直す。	90 90	課題発 見力 発信力 傾聴力 柔軟性
7週 /	子どもの生活・遊びと学び、養護と 教育との違い、自由遊びと集団遊 びとの違いを学ぶ (養護・教育、随伴性、共鳴動作、 愛着関係構築、習い事、早期教 育、臨界期と敏感期) ①ポスター製作	講義 調べ学習 ポスターセッション	養護と教育、乳幼児期の学び、愛 着等から保育の実際について理 解できる。また信頼関係を構築す るにはどうしたらよいかシミュレ ーションできる。集団遊びやいざこ ざの経験、自己、心の理論等から 遊びからの学びを理解できる。ま た早期教育、初期学習等につい て理解できる。	予習:テキスト第2章 9、第3章9を読む。 復習:配布プリントを 見直す。	90 90	主体性 実行力 規律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
8週 /	子どもの生活・遊びと学び、養護と教育との違い、自由遊びと集団遊びとの違いを学ぶ (養護・教育、随伴性、共鳴動作、愛着関係構築、習い事、早期教育、臨界期と敏感期) ②ポスター貼り出し、調べ学習	講義 調べ学習 ポスターセッション	養護と教育、乳幼児期の学び、愛着等から保育の実際について理解できる。また信頼関係を構築するにはどうしたらよいかシミュレーションできる。集団遊びやいざこざの経験、自己、心の理論等から遊びからの学びを理解できる。また早期教育、初期学習等について理解できる。	予習:テキスト第2章9、第3章9を読む。 復習:配布プリントを見直す。	90 90	主体性 実行力 規律性
9週 /	生涯にわたる生きる力の基礎、基本的な生活習慣の獲得、発達障がい、および自己の主体性の形成に関する発達援助を学ぶ ①ポスター制作	講義 調べ学習 ポスターセッション	「生きる力」とは何か学び、自己効力感、成功体験、原因帰属等について理解できる。また、「生きる力」が、なぜ必要か、どのように保育に生かすかシミュレーションできる。発達障がいについて把握し、気になる子どもの個別の支援方法についてシミュレーションできる。自我の発達やアニミズムを題材としながら、子どもの基本的な生活習慣や主体性を伸ばす保育についてシミュレーションできる。	予習:テキスト第3章9を読む。 復習:配布プリントを見直す。	90 90	主体性 実行力 規律性
10週 /	生涯にわたる生きる力の基礎、基本的な生活習慣の獲得、発達障がい、および自己の主体性の形成に関する発達援助を学ぶ ②ポスター貼り出し、調べ学習	講義 調べ学習 ポスターセッション	「生きる力」とは何か学び、自己効力感、成功体験、原因帰属等について理解できる。また、「生きる力」が、なぜ必要か、どのように保育に生かすかシミュレーションできる。発達障がいについて把握し、気になる子どもの個別の支援方法についてシミュレーションできる。自我の発達やアニミズムを題材としながら、子どもの基本的な生活習慣や主体性を伸ばす保育についてシミュレーションできる。	予習:テキスト第3章9～11を読む。 復習:配布プリントを見直す。	90 90	主体性 実行力 規律性
11週 /	発達の連続性と就学への支援を学ぶ。発達援助における協働(連携・連絡)を学ぶ。事例検討を行う(小1プロブレム、思春期の問題、きょうだいのような親子) ①ポスター制作	講義 調べ学習 ポスターセッション	発達には連続性があることを捉え、就学へいかにつなげるか、小1プロブレム等の話題から理解できる。さらに、思春期の発達まで年齢帯を拡げて長期的な就学後の発達段階を知ることができる。	予習:テキスト第2章10を読む。 復習:配布プリントを見直す。	90 90	課題 発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
12週 /	発達の連続性と就学への支援を学ぶ。発達援助における協働(連携・連絡)を学ぶ。事例検討を行う(小1プロブレム、思春期の問題、きょうだいのような親子) ②ポスター貼り出し、調べ学習	講義 調べ学習 ポスターセッション	発達には連続性があることを捉え、就学へいかにつなげるか、小1プロブレム等の話題から理解できる。さらに、思春期の発達まで年齢帯を拡げて長期的な就学後の発達段階を知ることができる。	予習:テキスト第2章10を読む。 復習:配布プリントを見直す。	90 90	課題 発見力 発信力 傾聴力 柔軟性
13週 /	現代社会における子どもの発達と保育の課題、問題行動への対処を学ぶ ①ポスター制作	講義 調べ学習 ポスターセッション	子どものストレス、問題行動への対処についてシミュレーションできる。また保護者の育児不安やストレスとその対処についてシミュレーションできる。	予習:テキスト第3章14、第4章4を読む。 復習:配布プリントを見直す。	90 90	課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
14週 /	現代社会における子どもの発達と保育の課題、問題行動への対処を学ぶ ②ポスター貼り出し、調べ学習	講義 調べ学習 ポスターセッション	子どものストレス、問題行動への対処についてシミュレーションできる。また保護者の育児不安やストレスとその対処についてシミュレーションできる。	予習:テキスト第3章14、第4章4を読む。 復習:配布プリントを見直す。	90 90	課題 発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
15週 /	全体のまとめ	講義 質疑応答	幼児の全般的な発達についての理解度と応用力などを確認する。	予習、復習:テキスト該当箇所、プリントを見直す。	180	主体性 実行力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力